

特集

使える「患者役」になろう！

教員や学生が「患者役」になる意義をあらためて考える

屋宜譜美子

模擬患者教育の立場からみた患者の演技方 福井みどり

【インタビュー】

模擬患者が考える「患者役」の重要性

佐藤睦子／斎藤文江／長谷川 克

段階的技術試験における OG ナースの

模擬患者としての活用 田口恵美子／高口みさき

【対談】ロールプレイとしての「患者役」を再考する

有馬葉子／運行

【連載】

だから私はこう書いた 系看著者のフィロソフィー・3 吉川隆洋

グループワークの“達人”への道・5 三浦真琴

東西南北！ 学生募集旅日誌・5 高塚由紀子

考える力を育てるシンキングツールの活用・8 黒上晴夫

笑いの伝道師 W マコトのコミュニケーション革命！・11 W マコト

宮子あずさのエキサイティング Writing・23 宮子あずさ

“医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・31

斉藤奈緒美／石川雅彦

編集後記

●特集を組んでおいてなんですが、病態関連図には特に興味をもっていませんでした。というよりも、取材先である先生とお話をしているこの言葉を聞くまでは、実際には見たこともありませんでした……。その際、学生が書いた図をいくつか見せていただきましたが、その書き方があまりにバラバラ（バラエティに富んでいる、というのとは違う）なことに気づき、これは基本的に「楽しく」書いてないなと思ったのが、今回の特集のきっかけです。●「情報を整理して図にまとめる」というのは、能動的な学び、つまりアクティブラーニングです。ただの読み書きよりは楽しいはずですが、「やらされ」感があっては、頭をアクティブにすることはできません。先生方には、学生が「自分でする」ことを楽しめるような工夫をお願いします。そうすれば、得た知識は学生のなかにより定着するはずです。……大野

●看護管理学会のランチョンセミナー（ニプロ主催）にて、W マコトさんのステージを拝見し、あまつさえ舞台上がらせていただきました。お2人のプレゼンテーションはまさに笑いの百戦錬磨。テーマである「良いプレゼンテーション」そのままのステージでした。うれしいことに、小誌をご覧になって興味をもたれたというお声もありました。皆さん、貴校にも呼んでみませんか？ ●連載といえば、前号からスタートしました、「だから私はこう書いた 系看著者のフィロソフィー」。1、2 回目は基礎看護学の茂野香おる先生にご登場いただきました。こちらの内容は、できる限り、弊社 SP 課が皆さんよりお伺いしている「教科書への疑問」に応えられるように努めています。この教科書のここが知りたいなど、リクエストはいつでも大歓迎です。双方向な媒体として、小誌をご活用くださいませ。……番匠

◎編集室ツイッター

<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第 57 巻 第 10 号 2016 年 10 月 25 日発行（毎月 1 回 25 日発行）

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan

（1 部）定価：本体 1,500 円＋税

2016 年・年間購読料（増大号を含む 12 冊）：冊子版 15,540 円、冊子＋電子版／個人 18,540 円、電子版／個人 15,540 円（いずれも＋税、送料弊社負担）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 〓出版者著作権管理機構 委託出版物〓

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。0047-1895/16/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは、1 論文 1 回複製につき紙は 500 円、電子版は 750 円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY 宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.57 No.9

2016 年 9 月
特集

さあ、臨床判断モデル

本誌 56 巻 7 号「看護過程再考」にて、タナー氏が構築した、臨床現場で看護師がどのように考えているかを表した、「臨床判断モデル」をはじめで紹介しました。多くの先生から、確かに実践者はこのように考えているという反響をいただいた一方で、これはエキスパートの思考であり、基礎教育に取り入れるのは難しいとの反応もありました。しかし、実際に、米国オレゴン州においては、このモデルのもと、声かけや事例設定などの日々の教育から、カリキュラム全体の構築、教育施設としての病院との連携など、大きな教育改革が実現しました。結果、卒業時に確かに臨床判断力が向上した、というデータが出ています。日本でも、「臨床判断モデル」を導入することにより、基礎教育の段階から、学生が実践的に考える訓練を積むことがいっそう可能となります。学生の実践力向上のため、ぜひこの特集が、皆さんの基礎教育変革の手助けとなることを願っています。

- クリスティーン・タナー先生講演録より——臨床判断モデルの概要と、その活用について……………監訳：松谷美和子
- 臨床判断モデルを基礎看護教育で用いるアイデアとシステム……………三浦友理子
- 臨床判断力開発のための「思考発話」……………池田葉子
- 「臨床判断モデル」に基づいた学習内容と評価について——コンセプトを基盤にした学習 (Concept-based learning activities) とラサター臨床判断ルーブリック評価 (Lasater Clinical Judgment Rubric) ……喜吉テオ紘子 / Ann Nielsen / Kathie Lasater
- オレゴン看護教育コンソーシアム (OCNE) とコンピテンシーを基盤としたカリキュラムの構築……………奥裕美



Vol.57 No.8

2016 年 8 月
特集

論理的に書こう！

前号では、論理的に「話す(聞く)」ことを取り上げました。今回はそれを「書く(読む)」という視点から再考します。引き続き、「論理的に考える」のではなく「考えた後で論理的に整理して話す(書く)」のだということを中心に書いていただきたいと思います。「話す」ことに比べれば、「書く」ことに関して教員はまがりなりにも学びの経験を積んで来ています。また、上記のように「考えた後で論理的に整理する」ための時間は、「話す」より「書く」ほうが、たいていの場合は多く取ることが出来ます。それでも「論理的に書く」のが苦手という人は少なくありません。これは、「論理的」という言葉の理解と、効果的なトレーニングの不足が原因の 1 つではないでしょうか。今回の特集は、「論理的に書く」前に「なぜそうするのか」「どんなときそうするのか」という自問が大事であること、および「書く」というのはコミュニケーションの手段であること、それぞれを再確認することから始まります。それらをふまえ、相手に何をどう伝えたいかを念頭において、論理的に考えを整理して執筆することの重要性を説きます。それから、看護教員ができる「論理的に書く」ためのトレーニングを、パラグラフ構造やアウトラインを用いたり、短い文から始めたりというように具体的に紹介していきます。教員自身が「論理的に書く」ことの意味を理解できれば、伝えたいことを伝えたい人により明快に伝えられるようになります。そして、その姿勢が学生に伝われば、きっと学生も「論理的に書く」ことに興味をもってくれるでしょう。そうなることを願っています。

- 「論理的に書くにはどうしよう」と問う前に、まず問うべきこと……………戸田山和久
- 【対談】看護教員が学べる論理的な書き方……………戸田山和久 / 高口みさき
- 論理的に書くための 3 つのヒント……………福澤一吉
- 小さな文章で、まず練習しよう！——《2 つの世界》を書き分ける……………佐渡島紗織
- 第 2 特集 ■
看護学生論文 入選エッセイ・論文の発表
■学生部門
【講評】
心の成長への学びと職業人への道程 柳田邦男
捨てる勇気 宮子あずさ
【柳田邦男賞】
負の感情からの気づき 門脇詩織
看護って、愛だと思うのです。 本岡陵太
【宮子あずさ賞】
彼 原のぞみ



【増大号】1部 定価 2,200 円

【2016 年 7 月号 (Vol.57 No.7)】

論理的に話そう！

【2016 年 6 月号 (Vol.57 No.6)】

看護過程再再考

【2016 年 5 月号 (Vol.57 No.5)】

「気持ちのいい」ケアを
教えよう！

【2016 年 4 月号 (Vol.57 No.4)】

あなたの「見方」に現象学を

【2016 年 3 月号 (Vol.57 No.3)】

カリキュラムを
「拡張」しよう！

【2016 年 2 月号 (Vol.57 No.2)】

看護観の伝承

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2014 年 8 月号 (Vol. 55, No. 8) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2014 年 9 月号 (Vol. 55, No. 9) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。